

●漁況情報

- 9月下旬、長井町漁協のカマス刺網漁が好調です。今年6月の解禁以降、低調な漁模様が続きましたが、9月末から1日1隻あたり70kg前後の好漁となりました。水揚げ単価も良いため、近年新規参入した若手漁業者も精力的に操業しています。

●浜の話題

- 9月17日、鎌倉漁協は地先漁場でチョウセンハマグリ分布調査（特別採捕許可）を実施しました。木村組合長と同漁協ハマグリ部会所属の若手漁業者3名が鋤簾を用いて調査したところ、殻長10～11cmの大型の貝が多く確認されました。一番大きな個体は殻長11.1cm、重量360gもあり、参加した漁業者は調査の結果にみな活気づきました。



採捕されたチョウセンハマグリ

- 9月17日、（公財）相模湾水産振興事業団は、腰越漁協の協力で、カサゴとメバルの種苗各5,000尾（全長6～8cm）を放流しました。当日は、腰越漁業研究会に所属する若手漁業者が、腰越地先の岩礁域に種苗を放流しました。
- 9月17日、（公財）相模湾水産振興事業団は、小田原市漁協、岩漁協及び真鶴町漁協の協力で、カサゴ種苗計15,000尾（各5,000尾）及びメバル種苗計15,000尾（各5,000尾）を小田原から真鶴にかけての地先へ放流しました。いずれも比較的大きくて元気な種苗で、漁業者は今後の漁獲に期待を寄せていました。



放流したカサゴ種苗



メバル種苗の放流風景

- 9月19日、県水産課及び当センターは、横須賀市長井地先で「令和2年度第1回漁業体験研修」を実施しました。当日は漁業就業に興味を持つ参加者6名が、講師の長井町漁協所属の宮川さん（房竹丸）のもとで、刺網漁やたこつぼ漁を体験しました。参加者の中には「将来海女さんになりたい」という方もおり、研修後のアンケートでも「貴重な体験だった」「漁業の現場が垣間見られた」といった感想が寄せられました。



刺網漁ではカワハギやイセエビが掛かりました



タコつぼ漁体験の様子

- 9月28日、二宮の大型定置網で標識タグが付いたマサバ（尾叉長33.3cm、体重380g）が漁獲されました。これは今年7月16日に当センターの漁業調査指導船江の島丸が東京湾横断橋の風の塔付近で放流した個体でした。当センターのサバ担当の研究者によると、再捕された個体は放流時の平均測定値と比較しても痩せているそうです。



再捕された標識マサバ

●お知らせ

- NHKのドキュメンタリー番組『プロフェッショナル 仕事の流儀』で、長井漁港で水揚げされる地魚を取り扱う長谷川大樹さんが取り上げられます。番組では長谷川さんの魚に対する想いや、活締めの様子、サメやエイ等の未利用魚の有効活用等の取組みが紹介されています。本放送は放映済みですが、再放送が10月13日（火）午前0時15分からNHK総合1で放映されますので、皆様ぜひご覧ください。

・番組紹介ページ <https://www.nhk.jp/p/professional/ts/8X88ZVMGV5/>